

3月30日 四旬節第4主日

わたしが知っていること

ヨハネによる福音書9章1、6～9、13～17、34～38節*

¹さて、イエスは通りすがりに、生まれつき目の見えない人を見かけられた。

⁶こう言ってから、イエスは地面に唾をし、唾で土をこねてその人の目にお塗りになった。⁷そして、「シロアム——『遣わされた者』という意味——の池に行き洗いなさい」と言われた。そこで、彼は行って洗い、目が見えるようになって、帰って来た。⁸近所の人々や、彼が物乞いをしていたのを前に見ていた人々が、「これは、座って物乞いをしていた人ではないか」と言った。⁹「その人だ」と言う者もいれば、「いや違う。似ているだけだ」と言う者もいた。本人は、「わたしがそうなのです」と言った。

¹³人々は、前に盲人であった人をファリサイ派の人々のところへ連れて行った。¹⁴イエスが土をこねてその目を開けられたのは、安息日のことであった。¹⁵そこで、ファリサイ派の人々も、どうして見えるようになったのかと尋ねた。彼は言った。「あの方が、わたしの目にこねた土を塗りました。そして、わたしが洗うと、見えるようになったのです。」¹⁶ファリサイ派の人々の中には、「その人は、安息日を守らないから、神のもとから来た者ではない」と言う者もいれば、「どうして罪のある人間が、こんなしるしを行うことができるだろうか」と言う者もいた。こうして、彼らの間で意見が分かれた。¹⁷そこで、人々は盲人であった人に再び言った。「目を開けてくれたということだが、いったい、お前はあの人をどう思うのか。」彼は「あの方は預言者です」と言った。

³⁴彼らは、「お前は全く罪の中に生まれたのに、我々に教えようというのか」と言い返し、彼を外に追い出した。

³⁵イエスは彼が外に追い出されたことをお聞きになった。そして彼に出会うと、「あなたは人の子を信じるか」と言われた。³⁶彼は答えて言った。「主よ、その方はどんな人ですか。その方を信じたいのですが。」³⁷イエスは言われた。「あなたは、もうその人を見ている。あなたと話しているのが、その人だ。」³⁸彼が、「主よ、信じます」と言って、ひざまずくと…。

* 以上は今日の朗読の短い形。ヨハネ9章1～41節を通して読むこともできる。

他の朗読：サムエル上16:1, 6, 7, 10～13 詩編23:1～6 エフェソ5:8～14

Lectio …読む

ヨハネによる福音書の前出の章から、イエスはファリサイ派の人々の間で物議を醸していたことが分かります。彼らはイエスを非難するあらゆる機会を探して、細かく観察していました。

イエスが安息日に癒した1人の男が彼らの前に連れて来られたのは、絶好の機会でした。安息日の癒しによってイエスがユダヤ人たちを怒らせたのは、これが初めてではありませんでした（ヨハネ5章1～18節参照）。

ファリサイ派の人々は、安息日にはいかなる仕事もしないという律法を厳格に守っていました（出エジプト23章12節、31章12～17節）。イエスもまた安息日を守っていましたが、「仕事」の内容についてファリサイ派の人々と意見を異にしていました。イエスは、癒すことは善いことで神を賛美している、だから、本当の意味で安息日を守っているという考えでした。

この目の見えない男は、めまぐるしい変化を経験します。生まれて初めて目が見える喜びを想像してみてください。しかし、それが祝われる代わりに、事態は複雑になり、彼を疑う人もでてきます(9節)。ファリサイ派の人々は、彼の両親に生まれつき目が見えなかったということを確認した後、ようやく彼のことを信じます。そして彼を神殿の境内から追い出してしまいます(34節)。

肉体的な癒しは素晴らしいことですが、もっと大きな癒しは未だ実現していません。イエスはこの男を捜し、ご自分が神の子であることを明らかにし、ご自分を信じるようにと招きます。この男はイエスへの信仰を告白し、彼の霊的な盲目もまた癒されるのです。

Meditatio …黙想する

イエスがこの男にどのような態度をとったか、よく考えてみましょう。イエスの態度をファリサイ派の人々の反応と比較してみましょう。このことから私たちは何を学ぶことができるでしょうか。

サムエル上16章7節の中で私たちは、神は心を見るのであって、外見を見ないと告げられます。このことは今日の福音朗読とどのように関係していますか。私たちは、人々を見た目や社会的な地位に基づいて判断していないでしょうか。

ファリサイ派の人々は、神の望みを行っていると考えていました。しかし結果としては神に背いていたのです。どうすれば私たちはこの同じ轍を踏まないようにできるでしょうか。

あなた自身の霊的な経験の中で、他人があなたに問いただすときにも固く立っていられるような、十分確信を感じるような方法で神に出会ったことがありますか。

Oratio …祈る

詩編23編は多くの段階において共感を呼びます。今週は、毎日いくつかの節に焦点を当てて、自身の祈りにしてみましょう。

肉体的、精神的な癒しを必要としている、あなたが知っている人たちのために祈りましょう。

Contemplatio …観想する

ご自身を信じるようにと、最初に神があなたを招いたのはいつのことだったかを覚えているでしょうか。今日まで神の恵みがあなたの生活の中でどのように働いてきたか、よく考えてみましょう。